

教科大好きプロジェクト「第2回英語実践講座」を実施しました。

平成26年2月4日（火）京都府口丹波勤労者福祉会館で、教科大好きプロジェクト「第2回英語実践講座」を開催しました。中学校英語教員約20名が参加し、指導と評価の一体化を図るための具体的な授業作りについて研修しました。



実践発表
京丹波町立瑞穂中学校
栃下雅世 教諭

「表現の能力を伸ばすための指導方法の工夫改善について」

- * 授業で取り組む自由英作文
- * 多彩な音読指導
- * 家庭学習の定着を図るノート指導



研究発表
南丹市立園部中学校
松本志津子 教諭

「指導とつながる観点別試験問題について」

- * 「表現」「理解」「知識・理解」の観点別試験問題をプロジェクトチームで作成
- * 「授業で行う言語活動」を取り入れた問題や「活用の力を問う問題」の具体例の提示

「本当の指導と評価の一体化とは何か」

関西外国語大学の中嶋教授の講義では、指導目標と評価が一体となった授業の実践例をビデオで紹介していただきました。オールイングリッシュでテンポよく進められ、「聞く」「話す」「読む」「書く」が統合されており、学ぶべき点がたくさんある授業でした。モデルとなる授業を見ることで、ねらいを達成させるための効果的な言語活動の在り方をイメージすることができました。

また、定期テストを年度当初に作成することで目標と指導と評価の一体化が図れることも教えていただきました。



関西外国語大学
教授 中嶋洋一先生

参加者の感想



* 今後の授業やテスト作成に取り入れたい内容が多くありました。特に実践発表でのスピーチに向けた”That’s WRITE”や音読指導、研究発表でのテスト例が大変勉強になりました。

* 中嶋先生の講演は大変勉強になりました。「テストから授業を変えていく」ということについて考えていかなければならないと思いました。

* ゴールを先に作って、それにめがけてどうアプローチしていくのか研究してみたいです。大変勉強になりました。

* 自分の授業を変えていかなければならないと思いました。

